

ピエトロのこだわり



国産のたまねぎを100%使用

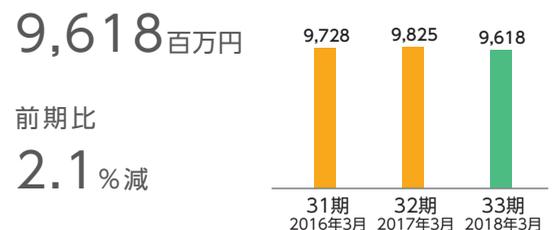
ピエトロではドレッシングを
いつも変わらぬおいしさに上げるため
季節ごとに産地や品種を吟味した
国産たまねぎを100%使用しています

厳選したたまねぎの旨味や風味を味わっていただくために
ピエトロでは製造工程で一度も熱を加えない
「生タイプドレッシング」にこだわり続けています
創業当時 レストランの厨房で仕込んでいたように
「作りたてのおいしさ」をそのままボトルに詰めて
お届けしています

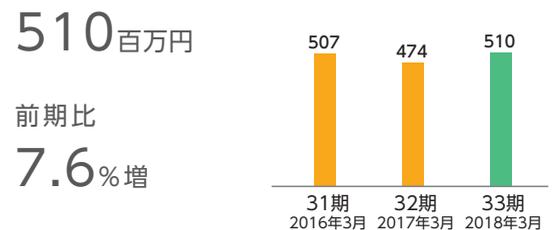


財務ハイライト

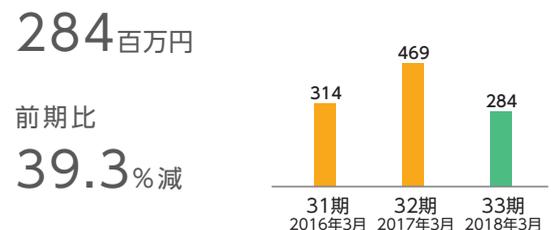
売上高 (単位:百万円)



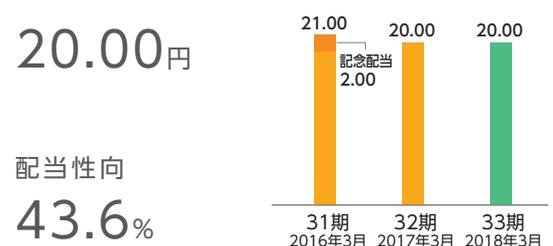
経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり年間配当金 (単位:円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社2018年3月期の
事業の概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 高橋 泰行



当期の経営成績

食品業界及び外食業界におきましては、低価格志向などの生活防衛意識が継続する一方、品質や機能性を求める選別消費の傾向が高まっている中で、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供を通してブランド価値の向上を図り、新商品の開発を行うとともに、コストの削減に努めてまいりました。

販売面では、首都圏での認知度の拡大と売上増加のため、2017年10月下旬から11月初旬、さらに2018年2月下旬から3月初旬に、関東ローカルスポットCMを集中投下しました。しかしながら、食品事業は前期発売した「濃い味 和風しょうゆ&生姜」と「ノンオイル 和風しょうゆ&レモン」が第1四半期において予想以上に販売量が減少し、さらに第2四半期以降は、野菜の高騰による影響を受け、売上高が減少しました。一方、レストラン事業は福岡地区店舗の売上高の増加と、ダスキン様(ミスタードーナツ)へのパスタソースの販売により売上高が増加しました。

これらの結果、当期の売上高につきましては、96億18百万円(前期比2.1%減)となりました。売上総利益は、売上高の減少及び工場の減価償却費の増加額30百万円、固定資産税の増加額4百万円等により前期比1.4%減少しました。販売費及び一般管理費は全社的に経費の削減に努め、前期比2.0%減少しました。この結果、営業利益は5億18百万円(同4.4%増)となり、経常利益は前期発生した新株発行費がなくなったことにより、5億10百万円(同7.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失が83百万円発生したこと等により、2億84百万円(同39.3%減)となりました。

今後の見通し

2019年3月期の連結業績予想につきましては、食品事業では、主力ドレッシングである280mlシリーズの販売を引き続き推し進めるとともに、既に高評価をいただいている「おうちパスタ」シリーズを含むパスタ関連商品の販売を強化してまいります。また、様々な食べ方の提案に努めるとともに、高品質高価格帯の商品展開など、価格競争とは一線を引いた販売戦略を図ってまいります。地域的には、拡販余地の大きい関東地域は、さらなるブランド強化による販売拡大を図り、ブランド認知度が高い北部九州地域は、既存顧客への深耕営業に努めます。

レストラン事業では、生野菜の国産化と健康メニューの強化を図るとともに、ディナーメニューを充実させ、サービスの強化による顧客満足度向上を図ることにより、収益改善に努めてまいります。

2018年2月から本格的に稼働したダスキン様(ミスタードーナツ)との提携事業に関しては、おいしさ向上による販売数の増加を目指し、年間を通して売上高の向上に繋がります。

以上の基本戦略を実施することにより、次期の業績につきましては、売上高は101億20百万円(前期比5.2%増)、営業利益は6億20百万円(同19.6%増)、経常利益は6億円(同17.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億50百万円(同22.9%増)を予想しております。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。